

まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

115号

2009年12月14日



ときわ台の景観を守る会

ときわ台まちづくり委員会

代表 鈴木博之 近藤洋子

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ 藤和マンション行政訴訟

12月3日(木)11:30から東京地裁 522号法廷で口頭弁論がありました。原告適格については引き続き原告の個別の状況を求められましたが、次回までに本論の補充を、という裁判長の言葉から察すると、本論審議に入れそうです。少なくとも原告適格および建物完成に伴う利益の喪失云々という門前払いは免れたと思います。しかし、同様の他の裁判では、審議打ち切りを一方的に宣告された例が数件あり、予断は許されません。裁判所の変革はまだに違いないからです。次回 3月2日11時半

○ 今年の活動

日ごろ「まちづくりニュース」をご愛読くださり、有難うございます。

私たちの様々なまちづくり運動や裁判の取り組みに対し、いつも暖かい応援をいただき、感謝に耐えません。今年は

・「まちづくりニュース」発行配布・地裁に於ける行政訴訟・上野氏「あかり展 in ときわ台」主催・龍谷大学景観勉強会(2回)・常盤台の案内説明(5件)・ロータリーコンサート(12月)・景観市民ネットの活動参加・花作りの会への支援・自転車不法駐輪についての区への申し込み・プロムナード樹木についての区との話し合い・中央図書館建替えについて図書館側との話し合い・都市建設委員会への陳情(継続審議)

などを行ってきました。

今年は協力金のお願いを見送ってきましたが、申し訳ないことですが、来年3月ぐらいにはお願いしたいと思います。皆様のご支持なしには、これだけの私たちの活動は持続できません。来年もよろしく願いいたします。

クリスマスキャロルを 一緒に歌いましょう

ロータリーコンサート

12月20日(日)

午後5時15分~45分

常盤台駅北口ロータリーにて

出演 常盤台バプテスト教会聖歌隊

主催 ときわ台まちづくり委員会

キャンドルは聖歌隊だけが持つことになりました。風邪をひかぬよう、暖かくしてお出で下さい。

曲目 諸人こぞりて 久しく待ちにし 三人の博士 さやかに星はきらめき 神の子は今宵しも 荒野の果てに ホワイトクリスマス (皆で) 諸人こぞりて きよしこの夜

今まで中止になったことはありませんが、一応、雨天中止です。

○ 東京新聞の影響

先日、東京ドングラコの載った「東京新聞」を手に、「このクルドサックへはどう行ったらよいのでしょうか」と聞いて来た人がいたそうです。都市計画をかじった人なら誰でも知っている常盤台。肝心の住民である私たちが、その特長や歴史を知らないのではないのでしょうか。知っていれば街の変化にも無関心ではいけないと思うのですが。

景観市民運動全国ネット総会から

調布市市民プラザ「アクロス」という所で十二月十二日(土)に景観ネットの総会がありました。七年前、国立の市民が「景観」という言葉で、明和地所と対峙したあの裁判運動から、常盤台住民も力を得たのでした。

石原一子さんをはじめ、運動に携わった人たちが、全国で同じように被害を受けている人たちを支援しようと立ち上げた「景観ネット」は様々な活動をボランティアで行っており、私たちも少なからず恩恵を受けています。総会で発表された中で、印象的な事例を報告しておきます。

* 「関さんの森」

松戸市の関さん姉妹は、先祖からの土地を周囲に解放し、自然保護に努めてきました。ところが市が計画した道路が敷地を貫通することになり、強制調査にまでなったのですが、地元住民の応援と、景観ネットの迂回道路の提案がものを言って、かろうじて自然が守られました。マスコミに乗ったので、知っている人は多いでしょう。

* 文京区「銅御殿」

重要文化財であるすばらしい和風建築が、隣地の高層マンション計画によって被害を受けそうだとしたこと、反対運動が起きています。野村不動産のような大手でも、利益追求となるとなり振りがまわらないのでしょうか。情けないことです。文化財保護の面からも環境保全からも、頑張っしてほしいと思います。

* 「鞆の浦」景観訴訟

東大都市デザイン研究室の助手の方が支援団体の事務局をしている関係で発表しました。常盤台についてのご意見を聞いてみたいと思います。一月九日龍谷大学で「国立から鞆の浦へ」というシンポジウムがあります。

* 蘆花公園ゲートッドマンション問題

耳慣れない言葉ですが、アメリカなどでゲートッドタウンというのは、広域に自警団を雇ったりして嚴重に困り込んだ町を言います。裕福なユダヤ人などが何重にも門を構え、安全かもしれないませんが排他的な町となり、批判を受けているそうです。日本でもそのような場所が作られる予定で、業者はセコムだとか。

* 渋谷区鶯谷開発許可訴訟

ほぼ常盤台の行政訴訟と平行して進んできたマンション紛争ですが、突然審議打ち切りを宣告されたそうです。良好な住宅地が壊され、巨大で無機質なマンション群となり、地下には貴重な縄文や弥生時代の遺跡があるというのに・・・。私益のためではなく、公憤によって訴訟に踏み切った原告に頭がさがります。裁判官忌避をして最高裁まで戦うと弁護士も憤っているそうです。

* 都市計画法や建築基準法について

さすがにこれだけひどい無秩序は見過ぎがなくなつたのか、両法とも見直しの動きが出ています。「量より質へ」の方向は決まったので、より良いまちを作ろうということになれば、ダウンゾーニングを市民参加で行うしかない、という意見は説得力がありました。これからのまちづくりを示唆するものです。

* 常盤台の調査に見えた東大の清水

亮さんの「皆さんの運動はたとえ敗訴となつても、諦めずに提訴することによって、何が問題になっているかを教え、社会の改革に役立っていくのだから頑張っしてほしい」という言葉が、有難くて心に残りました。それにしても景観ネットの活躍は、多岐広範に涉っていることに驚きました。

常盤台公園の花づくり

ドウダンツツジもカエデもきれいな紅葉でしたが、公園の落ち葉も峠を越えました。これから霜が降り、木枯らしが吹く季節です。小春日和にはベンチで休む人も多く見られます。曜日によっては幼稚園帰りのお母さんたちが、元気に駆け回る子供たちの姿を見守りながらおしゃべりに夢中だったり、また保育園の園児や保育さんが、追いかけてっこをしていたり、なかなか良く利用されている公園だと思います。

日当たりのよいベンチの裏の花壇には、ギボウシがありました。いつの間にか消えてしまいました。残ったものも根が衰えていました。ここは日当たりを好む別の植物に替えようと思います。土も少し入れ替えねばならないでしょう。ダリアなどはどうでしょうという意見があります。

定例会 12月19日・1月16日(土)

「ギャラリー服部」にて 七時